



わかば



10月号

学校教育目標 学びを **愉しく** 人と **仲よく** 心も身体も **元気よく**

～創立当時の思いを受け継ぎ、世界一の日本人学校を目指します～



学習が深まる 2 学期 ～アメリカを通して学びが多角的に～

順調にスタートした 2 学期，毎日の授業や行事を通して，園児，児童生徒の学びが様々な角度から深まっています。

幼稚園では先日年長さんをのぞくと，運動会での組体操をきっかけにしてオリンピックの話題で盛り上がり，パラリンピックまでひろげた学習を深めていました。夏休み中に家族で見に行った自由の女神の写真を見ながら，「自由の女神さまは片足をあげていて，片方は鎖につながっていたよ」とお話をしていました。幼稚園児がよく気づいたと思います。同時にこの何気ない足元の部分にも，この像がつくられた深い意味が表れています。まさに探究学習そのものです。

小学部では各教科の学習や校外学習の中で，教科書の中だけではなく，アメリカはどうか，なぜそうなのかと学習を広げ，思考を深めています。日本国内の学校とちがい，子どもたちは身近に比較対照できるアメリカがあり，先生も意識していますから自然に多角的な見方や考え方が身についていきます。日本の教育（先生方）は，これらを個人の学習のみで完結させるのではなく，クラスの中で発表したり話し合いをしたりして，集団での学びを深め，課題を解決させていきます。日頃の授業の中で，どのような学習のひろがりがあるかご紹介します。

小 1 「アメリカでは，どんなお話があるのかな？」

国語（おおきなかぶ）

小 2 「アメリカの牛肉は高い。日本とちがいがあるのかな？」

「アメリカのにんじんは日本より細い。ちがいがあるのかな？」

生活科（まちたんけん）

小 3 「どうしてサマータイムがあるのだろう。アメリカだけのもの？」

算数（時こくと時間）

小3 「アメリカにも自然豊かな世界で起こる不思議な物語があるのだろうか？」

国語（春風をたどって）

小4 「アメリカの浄水場は、どのような工夫をしているのだろうか？」

社会（住みよいくらし）

小5 「アメリカでも地方により言葉がちがうのだろうか？（方言）」

社会（あたたかい土地と寒い土地）

小6 「アメリカの憲法にも日本のような3つの大原則があるのだろうか？」

社会（私たちのくらしと憲法）

「アメリカではトルネード災害でどのような取り組みをしているのか？」

社会（震災復興）

6年生はワシントンのスミソニアン博物館で、エノラ・ゲイ号の実物展示や第二次世界大戦時の展示品を見て、国により日本とは異なる歴史の考え方を感じたようです。

4年生は国語の学習でインタビューで校長室に来ました。その中で、以前全校朝会で話した永久保存の学校沿革誌について覚えていた児童がおり、「なぜ、学校にそんな日記が必要なのか」と聞いてきました。これもよい質問でした。それぞれの教科や単元の教科書の受け身の学習内容で終わらずに、さらに調べてみたい、話し合いたい、伝えたい等々、それが大切です。

中学部では従来の探究学習からさらに本校の特性を活かした取り組みを進めています。英語部のハバード先生から、アメリカにおける人権問題について英語で講義を受け、話し合い、考えを発表するなど先進的な取り組みを進めています。

先日の連邦裁判所の見学時にも、連邦裁判所の裁判官から英語で説明を受け、英語で質問を交わしていました。わずか1時間半の中にもかなり高度な内容が含ま

れていました。中でもアメリカ合衆国の憲法が、「イギリスの圧政を受けて独立した影響から、憲法は政府の権限を規制するためにつくられている」との裁判官からの説明を聞き、いまだ教科書の暗記に陥りがちな、日本の中学校公民的分野での憲法の学習と比べ、雲泥の差を感じました。さらに代々の修正条項がその時代を表す重要な条文であることも説明を受け、中学生でここまでの内容が学べることは、国内でもなかなかありません。（高校でもこのレベルまで指導している学校はほとんどないでしょう）

こうした日頃の授業での学習を双葉フェスティバル（学習発表会）に向けてそれぞれが準備を始めています。ここでは触れませんでしたでしたが、英語部の先生方も様々な創意工夫を加え、準備を進めています。10月4日（金）です。



連邦裁判所前の広場で集合写真を撮影しました

◎ 中学部連邦裁判所見学

9月12日（木）中学部全学年の生徒が参加してシカゴ・ダウンタウンにある連邦裁判所の見学に行きました。学校運営委員会の山本真理理事様のご紹介で、15年ぶりに実施できました。

実際に使用されている小法廷で現役の裁判官，検察官，国選弁護人の方から英語で説明を聞きました。いくつかの質問にも応えていただきました。さすがに法曹界に携わる方ですから，説明も簡潔明瞭に理路整然としており，たいへんわかりやすくお話をしていただきました。その後，大法廷に移動し，歴代の判事さんの写真に囲まれながら，記念撮影を行いました。

進路を考え始める中学生には，極めて貴重な経験となりました。



※大法廷で集合写真を撮影しましたが，厳肅な場所ですのでここでは控えたいと思います。



◎ 小学部修学旅行 ワシントン D.C. ～ホワイトハウス入館～

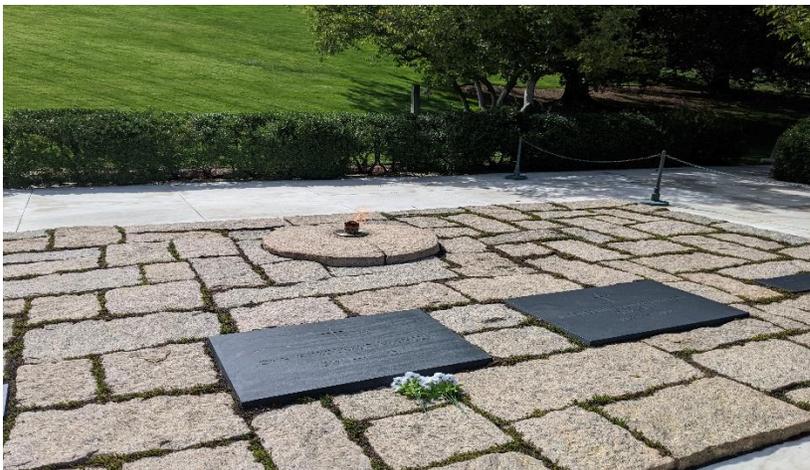
6年生の修学旅行，9月4日から6日までの2泊3日で行われました。今回は約10年ぶりにホワイトハウスに入ることができました。詳細をお伝えすることはできませんが，今回は双葉会の卒業生の方が現在ホワイトハウスに勤務されており，その方のご尽力の賜物でした。様々な事前段階（数か月前から）での確認作業がありました。以前行かれた方からの情報では，早めに並んでもかなり待たされると聞いていましたが，当日は並ぶこともなく，待つこともなく，数か所のセキュリティゲートを通過し，「どこで待たされるのだろう」と話していましたが，そこがすでにホワイトハウス内，自由に見学をさせていただきました。まだ入館者も少ない状態で，非常にぜいたくな気分でした。入り口にはジョン・F・ケネディ大統領のファーストレディーであったジャクリーンさんが愛した庭園があり，黄色のバラが美しく咲いていました。あるお部屋からは，ホワイトハウスで

最も美しい風景と言われる窓からの風景をゆっくりと堪能でき、児童は感動の連続でした。（事務室前に置かれたガラスケースの中に写真を入れておきました）

実はこの時間帯、バイデン大統領が在宅（???)し、ウイスコンシン州に行くため、大統領専用ヘリが離発着するとの情報も入りました。当然ですが、バイデン大統領には会えませんでした。アメリカ大統領の専用ヘリ MARINE 1 を見ることができました。生徒たちは「たぶんあれに乗っているのだろう」と「バイデンさん〜ん」とヘリに大きく手を振っていました。

館内で唯一日本の首相の写真がありました。今は亡き安倍総理大臣がトランプ政権の時代にホワイトハウスを訪問された時の写真でした。もしかしたら子どもたちの訪問を見越しての配慮かもしれません。私は以前、日本の総理官邸に入る機会がありましたが、それに比べるとホワイトハウスは非常に家庭的な雰囲気でした。そこからもアメリカと日本の考え方のちがいが感じられました。世界の歴史が変わる様々な分水嶺において、歴代のアメリカ大統領がこの場でこの景色をみつめながら決断を下してきたのかと思うと子どもたちにはかけがえのない貴重な経験でした。関係者の皆さまに心から感謝をいたします。

※ホワイトハウス内の写真についても、ここでの掲載は差し控えたいと思います。



アーリントン墓地に眠るケネディ大統領とジャクリーン夫人のお墓です
後方の炎はどんな天候の日でも24時間365日灯されるそうです

◎ 小学部修学旅行 ワシントン D.C. ～その他の見学地～





広島に原子爆弾を投下したエノラ・ゲイ号



国会図書館の閲覧室 ハリーポッターの世界のようでした

ナショナル ギャラリーや自然史博物館，歴史博物館も見学しました



世界の一流作品との出会い 絵画の奥の深さも学びました



ガイドさんは今年から，バック雅子さんに変わり，たいへん丁寧でわかりやすく熱心に説明をしていただきました。探究学習の種を蒔いていただきました。

○公益財団法人・海外子女教育振興財団訪問

9月11日（水）海外子女教育振興財団の研究委嘱を受けている関係で、幼児教育の第一人者である兵庫教育大学学校教育研究科教授である鈴木正敏先生と財団の教育アドバイザーである中村昌子先生お二人の訪問がありました。

11日には教育講演会を行い、幼稚園の保護者の方々の参加でわかりやすく幼児教育の現状についてお話をさせていただきました。日頃、こうした機会が少ない在外において貴重な講演会となりました。

○小学部3年生はおせんべい工場に行きました

9月10日（火）3年生はTH FOODS様のお世話でおせんべい工場に行きました。訪問した工場では350人以上が働いており、その周辺にも2か所、他州に1か所の工場があるそうです。

当日はおせんべいの歴史や製造工程を映像で学んだあと、工場内で実際におせんべいを作る体験学習をさせていただきました。型取りから素焼き、味つけなどを行い、各自が作ったおせんべいをおみやげに持ちかえらせていただきました。

（ちなみに作った当日よりも翌日のほうが美味しいとのこと）アメリカでも、多くの人々に日本のおせんべいが愛されていることを児童は感じたようです。

関係者の皆さまに感謝いたします。TH FOODSのおせんべいは、身近なお店にもあります。

○シカゴ・カブス 今永昇太選手 来校します

10月1日（火）シカゴ・カブスの 今永 昇太 選手が来校します。

アメリカの大リーグで大活躍し、注目を集める今永選手の訪問に、園児、児童生徒は楽しみにしています。今回の訪問は学校運営委員会の高瀬慎一会長様の仲介でここまでこぎつけました。関係者の皆さまに感謝いたします。

○これからの予定

10月 1日(火) シカゴ・カブス 今永昇太選手との交流会

10月 4日(金) 双葉フェスティバル ※1

※PTA ブックリサイクル活動 お忙しい中多くの本をありがとうございます

10月 6日(日) 第2回英検1次

10月 7日(月) 日本貿易会学校訪問

中学部キャリア学習 デュポール大学訪問

10月 9日(水) 小学部3年生校外学習 Trader Joes ※2

10月10日(木) 小学部3年生校外学習 Tensuke

日本英語検定協会学校訪問

10月11日(金) 漢字検定

10月18日(金) 小学部3・4年生 シカゴシンフォニーオーケストラ鑑賞

10月31日(木) ハロウィン 授業参観 ※3

この他に各学年・学部ごとの水泳教室・スケート教室が始まります。

※1 今年の上葉フェスティバルでは、アーリントンハイツの教育長さんが本校を訪問し、児童生徒にメッセージをいただけるとの連絡がありました。

午後の始まりの部分になる予定です。これも珍しいことです。

なお、今年から舞台が老朽化し演技に危険があるため、なくしました。

※2 中国の在外教育施設でたいへん痛ましい事件が発生しています。

本校でも2学期は各学年において校外に出る機会が増えてきます。

学校としては、従来、近場は徒歩で行かせていましたが、今回の中国での事件

を受けて3年生の校外学習 Trader Joes も当初は徒歩で行かせる計画でしたが、バスを使用できるよう手配しました。また、引率する教員は周囲への注意を怠ることのないようにします。教育活動が委縮してはいけませんが、関係機関との情報共有を図りながら、安全第一で進めてまいります。保護者の方からも不審者情報や危険情報があれば、お知らせください。

※3今年度のハロウィンではコロナ禍前に行っていたような、実際にアメリカ社会で行われているものに近い形で実施を予定しています。具体的には校内で英語部の先生方がお菓子を配ります。事前に児童生徒に帰宅まで口にしないことを指導しますが、各家庭におかれましても特にアレルギー等ご心配なお子様にはお話をしておいてください。英語部からも文書がでる予定です。

下は仮装をした英語部の先生方です（昨年度のもの）

